



好 学 爱 慈 知 健  
自 律 敬 実 刚

# 鵠鳥之信

## 鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市篆師二丁目1番1号

TFI 099-251-7387 FAX 099-255-3433

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.htm>

我執を捨て己に克つ

校長 高田 肥文

後期クラスマッチ

立成二八三便の「郷土を知る学習

自分という語句の「自」は「独自に存在する」という意味で、「分」は「全体の一部分」を意味することを最近知った。ある物が独自に存在することと同時に、また全体の一部分として存在するという円満無碍なる一致を表現して「自分」と謂うのだそうだ。実はこの自分を知り自力を尽くすほど難しい事はない。だからどういう素質能力を与えられているか、それと称して「命」と謂い、それを完全に發揮していく、すなわち自分を尽くすのが「立命」であると謂う。命とは先天的に賦与されているものであるから「天命」と謂い、またそれを後天的な修養によつて如何様にも変えられるという意味において「運命」と謂うのだそうだ。本校の日めくりカレンダー「鶴言」に『天からの封書を開はよ』とあるのは、こんな思いが込められているのである。

「老子」（第三十三章）に『人に勝つ者は力もあり。自らに勝つ者は強し』とある。古来、克己は聖賢が等しく目指した道である。己の個々に打たれ克つほど難しい事はなかつたのである。己の心に菓食う我執（わがまま、気まま、朝寝、屁理屈等々）について負けてしまう弱さを持つてゐるのが人間である。

しかし、一念発起するのに遅すぎる事はない。少くして学べば、即ち壯にして為すこと有り

佐藤 疎の言葉に

少くして学べば、  
即ち壯にして學べば、  
即ち老いて衰えず  
老にして學べば、  
即ち死して朽ちず  
とある。

新しい年を迎えるに当たつて、我執を捨てた自己を改めて自らに問う心を持ちたいものである。

1・2月の行事予定	
1月	
1 月	元日
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	セ ン タ ー
6 土	
7 日	
8 月	成人の日
9 火	授業開始日 金曜校時 中掃除
0 水	学校安全の日(7限カット)
1 木	1・2年実力考査(1日目)
2 金	1・2年実力考査(2日目)
3 土	悠学講座 スクールカウンセリング⑤
4 日	
5 月	全校朝会
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
0 土	センター試験(1日目), 進研模試(2年) 学研ハーベル模試(1年)
1 日	センター試験(2日目), 進研模試(2年)
2 月	学年朝会 センター試験自己採点
3 火	3年特別授業開始
4 水	
5 木	
6 金	中掃除
7 土	悠学講座
8 日	第3回英検一次試験
9 月	全校朝会
0 火	
1 水	(7限カット)
2月	
1 木	
2 金	
3 土	悠学講座 スクールカウンセリング⑥
4 日	駿台東大模試(2年)
5 月	全校朝会
6 火	
7 水	推薦入学者選抜 4~6限授業) 50分×3限
8 木	
9 金	学校安全の日, 中掃除
0 土	進研プロシード(2年)
1 日	建国記念の日
2 月	
3 火	(4限目カット)
4 水	
5 木	
6 金	中掃除 学年末考査時間割発表
7 土	
8 日	
9 月	学年朝会
0 火	
1 水	3年特別授業終了
2 木	
3 金	学年末考査(1日目)
4 土	
5 日	前期日程試験 第3回英検二次試験
6 月	学年末考査(2日目)
7 火	学年末考査(3日目)
8 水	学年末考査(4日目)中掃除

しかし、一念発起するのに遅すぎる事はない。  
佐藤一斎の言葉に

## 校内ダンス発表会



十二月十三日(水)、ダンス部を皮切りに二年ダンス選択者が十グループに分かれ創作ダンスやヒップホップ、チアダンスなど個性豊かなダンスを披露した。

ステージ上で緊張しながらも精一杯の笑顔で踊るダンサーに会場から盛大な拍手と声援が送られた。

約半年、互いに協力し、試行錯誤を繰り返しながらひとつつの作品を創り上げた努力が実り、本当に素晴らしい発表会になつた。

てクラスマッチが行われた。今回の後期クラスマッチは前期クラスマッチのリベンジに燃えるクラス、連覇をねらうクラスなど、それぞれで士気が高まり、本番約二週間前から、昼休みには体育館や校庭で特訓する生徒達のいきやかな声が聞かれた。

当日は天候の心配もあつたが、見事に晴れて予定通り実施され、大きな怪我等もなく無事終了した。発足したての生徒会の運営も素晴らしい、クラス学年を越えて応援しあう生徒の姿は微笑ましく、クラスマッチの意義を十分感じさせてくれるものとなつた。



一八九八年は薬品検査の会社見学や鹿児島空港で税関業務などの学習を深めた。それぞれの研修先で担当の方から詳しい明を頂き、さすがは鶴丸生と思わせるような問題が相次ぎ、熱気あふれる学習が展開できた。移動のバスの中でもエネルギーのははち切れんばかりで、学習を深めながら学級の団結が一層まる思い出深い、有意義な研修ができ、郷土魅力を再認識する機会となつた。

月十五日（金）に実施され  
続的に学級別に資料收集さ  
りに取りかかり、情報の集  
た時間をつなぎ合わせて、  
担任の先生方の工夫が無  
い資料作りが進んだ。  
今年の各学級の研修の中  
心は次のような内容だ  
った。一 R と一七 R は  
肥薩オレンジ鉄道を中心  
に据えて実際に乗車して、  
がら沿線の市町村について  
て学習した。一二 R はア  
ートの森とみやまコント  
ールを中心に芸術面の探  
り下げをした。一三 R は  
集団読書で読んだ「聞け  
たちの足跡をたどるべく  
後、宿泊方面に向かい歴  
は日置市の地場産業を研  
究作作りに挑戦し、現地



## 感染性胃腸炎 全国で発生

## 感嘆の深さ。質説

○予防のポイント

① トイレの後や調理前の流水石鹼手洗い

② ③ 貝類は十分加熱して食べる

汚物処理は塩素系を使用する

④ 最近感染経路として指摘されているのが、ウイルスを大量に含む汚物の処理が不十分だったために発症するケースである。ノロウイルスは乾燥すると空気中を浮遊する。嘔吐物を処理する際に注意が必要となります。

○汚物の処理の手順

① 部屋の換気を行い、使い捨て手袋をつける  
雑巾でぬぐいとる

② 汚れた床は家庭用塩素系漂白剤を染み込ませたペーパータオルで拭く

③ 使用したもののは全てポリ袋に入れ、密封して処分

④ 入念に石鹼手洗い

これから、風邪やインフルエンザが流行する季節でもあります。いずれにしても予防は日頃からうがい、石鹼手洗いの励行、部屋の換気に気をつけることが基本です。

耐震・大規模改修工事は耐震壁が完成し、外壁補修も